

8/20 鶴城地区（米津・西野町） 令和元年度「市長と語る市政懇談会」意見・質問等一覧〔事前提出分〕

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
1	子どもを取り巻く環境 〔西野町〕	<p>【質問】 各地区・校区においては、児童数の増えている地区もあれば、減っている地区もあります。減っている地区は、学年のクラス数を保持することや、PTA事業の継続に苦慮しています。 また、外国人児童の増加や地元の日本人児童の減少により、子ども会の運営継続が困難な子ども会もあり、校区のPTA行事や子ども会行事に参加できない状況もあると聞いています。 子供たちは、周りの友達と一緒にPTA行事等に参加したいと思っているにもかかわらず、子ども会に所属する人数の減少などによる環境が原因で参加できないという状況は、子供の成長環境に良くないと考えます。 校区や単位子ども会の再編、市からの支援（援助）について意見をお聞かせ願いたい。ただし、人数の多少より各校区の特色や歴史は重んずるべきだと思います。</p>	<p>近年、子ども会は全国的に少子化や育成者の不足などにより、数が減少してきており、本市においても例外ではありません。 市としましては、子ども会やPTA活動は、子どもたちの健全育成に欠かすことのできない貴重な活動であることを十分認識し、活動支援を行っております。 子ども会は任意団体ですので、再編や活動内容などについては、各子ども会が独自の判断で行うことが出来ます。 市といたしましては、必要に応じて相談を受けたり、あるいは活動費の助成を行ったりもしております。 今後も、子ども会やPTAの連絡協議会、校区の代表者などと連携を図りながら助言などを行い、地域ごとに特色ある子ども会活動が継続できるように支援してまいります。</p>	生涯学習課
		<p>【意見】 子供を中心にスポーツの振興と心身の健やかな発達を目指すにあたり、近隣市に比べ環境・施設整備が整っていないと感じます。 ・web上の施設予約から見ても絶対数が少ない。 ・少年野球は小中学校で行っている。 ・大人の野球を含め、少年野球においてマウンドやナイター設備の整ったグラウンドが少ない。 ・プロ野球の二軍やオープン戦を招致できるグラウンドがない。（西尾市以外の近隣市ではある。） ・室内や専用フットサル場が少ない。</p>	<p>web上での施設予約は、「あいち共同利用型施設予約システム」を多くの自治体が活用しております。本市におきます施設予約は、ほぼスポーツ施設に限っており、合併前の4市町でそれぞれスポーツ施設を保有しておりましたので、他市と比較しても施設数は、多いほうだと思います。 野球場といたしましては、少年用として、矢作川西尾緑地とみなとまち1号緑地の2面のみですが、大人用まで含めると、西尾公園総合グラウンドの2面を始め6か所で計7面があり、合計として9面あります。ナイター設備は、西尾公園総合グラウンド、坂田球場、横須賀公園運動場の3か所あります。 プロ野球の二軍を招致できる公式野球場につきましては、今のところはありませんが、西尾市スポーツ協会からも建設についての要望を聞いております。 また、専用フットサル場はありませんが、中央体育館と一色町体育館では行うことができますので、ご利用ください。 一つの市ですべてのスポーツ施設を賄うのは困難であり、限られた予算で、市民の皆様がスポーツを楽しんでいただけるよう、関係諸団体からも意見・要望をお聞きし、今ある施設の修繕や再配置計画を進め、環境整備に努めてまいります。</p>	スポーツ課
		<p>【質問】 西尾市のPFI問題はいつ頃先行きが見えそうでしょうか。</p>	<p>PFI事業の見直しについては、平成31年2月25日にSPCに対し業務要求水準書変更通知書により、業務要求水準書、事業日程及びサービス対価を変更して通知しました。3月25日に回答があり、回答内容から市が行った変更通知をSPCは受け入れないものとの判断に至りました。現在は、中立公正な第三者を交えた調停の場において話し合いをしており、早期解決を目指してまいります。</p>	資産経営課

8/20 鶴城地区（米津・西野町） 令和元年度「市長と語る市政懇談会」意見・質問等一覧〔事前提出分〕

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
2	交通指導員、民生委員、消防団の選出 〔米津〕	<p>【質問】 交通指導員の業務については、外部の業者に委託してはどうか。月3回のゼロの日、お茶摘み、花火大会、その他地域の祭礼など活躍の場が多く、担い手を探すことが困難です。民生委員、消防団員については、町内会、町内会長が次期の人を探しているが、他市でも同様の探し方なのか。</p> <p>[追記] 他にも町内会や町内会長宛てに、「神社総代から次の人を探してほしい」、「子ども神輿をやるから協力してほしい」、「新たなコンサートをやるから助成金をいただきたい。」など多くの依頼や業務がある。</p>	<p>町内会の皆様におかれましては、交通指導員の選出を始め、民生委員の一斉改選における選出や消防団員に対する活動の支援など、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>まず、交通指導員の選出につきましては、地域の皆様と一緒に安心安全なまちづくりを進めるという点から町内会より推薦いただきますようお願いいたします。</p> <p>町内会から推薦いただいたほうが良いと考える理由としましては、小学校の交通教室や交通事故死ゼロの日の街頭指導を地域の方に行っていただきますと、参加した児童や通学中の小中学生は親しみや安心を感じる効果があるかと思えます。</p> <p>近隣市の交通指導員の募集方法につきましては、交通指導員の形態等が各市で異なっており、単純な比較はできませんが、地元の推薦や個人の申し込みにより募っているところもございました。</p> <p>次に、民生委員・児童委員の選出についてお答えいたします。</p> <p>民生委員・児童委員につきましては、地域の皆さんの身近な相談役として、また、市民と行政をつなぐ、パイプ役として、ご活躍いただいております。町内にはなくてはならない存在となっております。そのため、その選任は、地域の実情をよく把握している町内会よりご推薦いただいております。</p> <p>民生委員・児童委員の推薦方法について、本市を含む西三河9市の状況をご説明させていただきます。</p> <p>推薦については、西三河9市では高浜市を除いた8市で、町内会長や自治会長等からの推薦を頂いているという状況でございます。</p> <p>なお、高浜市につきましては、町内会長と現任民生委員とで協力して、候補者を推薦していただいております。</p> <p>最後に、消防団員選出方法について、本市を含む西三河9市の状況でございますが、団員と町内会が協力して選出する方法を選択しているところが4市、団員のみでの選出が3市、町内会のみでの選出が2市ございました。</p> <p>この地域に整備いたしました機能別消防団の団員選出方法でございますが、以前、旧西尾地区に存在しておりました水警防団の団員選出につきましても、町内会に推薦していただいていたという経緯を踏まえ、付近の状況や住民の家族構成など、それぞれの地域の実情に詳しい町内会が中心となり、必要に応じ、団員が協力する方法で団員を選出していただくことを望み、町内会へ依頼をさせていただいたものでございます。</p> <p>ご理解とご協力をお願い申し上げます。</p>	危機管理課 福祉課 消防総務課

8/20 鶴城地区（米津・西野町） 令和元年度「市長と語る市政懇談会」意見・質問等一覧〔事前提出分〕

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
3	西尾市民病院のあり方 〔米津〕	<p>【質問】 西尾市と碧南市の話し合いで、経営統合はしないとの報道でしたが以下の点についてお聞きしたい。 ①碧南市との話し合いの詳細は。 ②市民病院の現状と未来に希望がもてるのか。 ③病院経営の今後の採算性はどうか見込んでいるのか。 ④市民病院の評価とストロングポイント（長所や強み）は何か。</p>	<p>1点目の西尾市民病院と碧南市民病院との話し合いの経緯につきましては、 〈平成30年1月〉 西尾市から碧南市に対し、「将来的な経営統合及び新病院の建設を選択肢の一つとした協議、検討」を依頼 〈平成30年6月〉 碧南市から西尾市に対し、「碧南市内での新病院建設を前提とするのであれば、経営統合に関する協議・検討を行う」、「医療連携は、引き続き協議・検討を進める。」とする回答が届く。 〈平成31年3月〉 西尾市から碧南市に対し、「碧南市内での建設を前提とする経営統合に関する協議・検討は、市民や関係団体の意向を尊重し同意は難しい」としながらも、「経営統合し、両市で2病院体制を維持しつつ、両病院で急性期医療を継続する」とする新たな提案をする。「医療連携の協議・検討は同意」と回答。 〈平成31年4月〉 碧南市から西尾市に対し、「両病院を経営統合し、両市で2病院体制を維持しつつ、両病院で急性期医療を継続することについては、市民サービス向上や経営改善が図れるよう検討を開始したい」と回答が届く。 現在、経営統合するかどうかも含め、両市及び両病院で協議・検討を進めている段階です。 2点目の現状と未来の状況につきましては、慢性的な医師不足の中、二次救急病院として、安全で満足度の高い医療の提供に努めておりますが、経営的には大変厳しい状況が続いております。しかしながら、年間4千台を超える救急車を受け入れている西尾市民病院は、17万市民を抱える西尾市にとって必要不可欠と考えております。今後も改革プランに掲げた取り組みを着実に実行することで経営改善に努めるとともに、他病院との連携強化などに取り組むことで西尾市民病院を存続させ、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供してまいりたいと考えております。 3点目の採算性につきましては、大学医局に医師の派遣を要請していますが、現状では慢性的な医師不足が続いているため、厳しい状況であります。来年度には岡崎市南部に大学病院が開院する予定です。今後については西尾市民病院も一定の影響を受けることが予想されるため、当面は、更に厳しい経営状況となることを見込まれます。 4点目の西尾市民病院の評価であります。年間4千台を超える救急車を受け入れているという点では、地域医療に貢献ができており、必要不可欠な役割を担っております。また、第三者による客観的な評価である「病院機能評価」を受け、地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、日常的に努力している病院と言われる「認定病院」に認定されています。 次に、西尾市民病院のストロングポイントとしましては、まず、回復期機能を持った地域包括ケア病棟を有していることで、患者の在宅復帰への支援や在宅患者の急変時等の受け入れなどにも柔軟に対応出来る体制にしております。 また、高度医療機器を備え、様々な検査や治療に対応しております。今年度購入しました「乳房X線診断装置」は、従来の機械に比べ痛みが非常に少なく、短時間で撮影ができ、さらに3D撮影に対応するなど、より精細で正確な診断ができる最新機器となります。現在、西尾市民病院では乳がん治療の専門医師が在籍し治療を行っており、形成外科医による乳房再建にも対応しております。そのほか、大学病院並みの高性能な白内障手術機器や眼科手術用顕微鏡、全身の骨密度や筋肉量が測定できる全身用X線骨密度測定装置なども整備しております。</p>	市民病院管理課

8/20 鶴城地区（米津・西野町） 令和元年度「市長と語る市政懇談会」意見・質問等一覧〔事前提出分〕

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
4	これから増加する外国人に対する対応 〔米津〕	<p>【質問】</p> <p>町内会と外国籍住民との関わり方はどのようにしたら良いのか。</p> <p>①言葉の問題や文化の違いにより、コミュニケーションの取り方が難しい。どうしたらよいのか（翻訳ソフト）</p> <p>②住んでいるところ、国籍等の情報はどのように入手できるのか。</p> <p>③町内会の加入について、どうアプローチすればよいのか。町内会費はどうか。</p> <p>④ごみの不法投棄の増加が懸念されるが、その対処方法はあるか。</p> <p>⑤相談窓口は設置しているか。</p>	<p>1点目の日本語が十分に理解できない外国籍住民とコミュニケーションをとるには、無料の多言語翻訳アプリ「Google翻訳」、「VoiceTra(ボイストラ)」等の活用が有効であると考えます。</p> <p>2点目の住んでいるところの情報などにつきましては、町内会長様が閲覧可能であります。次に国籍につきましては、住民基本台帳法により個人情報に該当しますので、お知らせすることはできません。</p> <p>3点目の町内会の加入については、多言語（英語、中国語、ポルトガル語、やさしい日本語の4言語）による町内会加入促進チラシを作成し、外国籍の方の転入時等に配布しています。また、希望により町内会にも配布しています。</p> <p>町内会費につきましては、町内会からの依頼により、町内会会則を翻訳しておりますので、徴収にあたっては、こちらをご利用いただければと思います。</p> <p>4点目の「ごみの不法投棄」の解釈について、外国籍住民の方が、本来捨ててはいけないような場所へごみを違法に捨てている場合ではなく、ごみ出しのルールがよくわからず、ごみステーションに分別をしなかったり曜日を守らなかったりしてごみ出しをされている場合と考え、ご回答させていただきます。</p> <p>ごみステーションを管理されている町内会の方から、そのようなご相談をいただいた際は、ごみ出しのルールを記載した掲示板（日本語、英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語の5か国語対応）をラミネート加工して提供しております。</p> <p>町内会の方が抱えられている案件ごとに個別対応させていただきたいと思っておりますので、是非、ごみ減量課にご相談ください。</p> <p>今後とも、ごみの資源化、減量化にご理解とご協力をお願いします。</p> <p>5点目の市の業務にかかる相談は、外国人、日本人に関わらず担当課で個別に対応しています。また、外国籍住民の日常生活にかかる多言語（英語、ポルトガル語、スペイン語、日本語の4言語）による相談は、毎月第1・第3金曜日の午後1時～4時と、年3回の日曜日の午前9時～正午に実施しています。</p>	地域つながり課 市民課 ごみ減量課
5	下水道の整備 〔西野町〕	<p>【要望】</p> <p>西野町校区には下水道設備がほとんど無く、これまでも期待してきましたが未だに実現していません。当校区は古くからの街で、生活水をそのまま側溝に流している家庭が多く存在します。かつては農業用水も流れていましたが、近年では用水の利用が減り、用水路に生活水がたまり悪臭が充満し、苦情が後を絶ちません。早急な整備をお願いします。</p>	<p>公共下水道整備については、市街化区域を先行して整備を行い、その後、市街化調整区域の整備を順次進めていますが、この地区の整備が遅れており申し訳ありません。</p> <p>市街化調整区域の整備にあたっては、公共事業ではございますが、厳しい財政状況の中、事業採算を考慮せずに進めることは困難な状況下にあります。</p> <p>特に使用料収入による経費回収率は70パーセントを下回っており、本来、使用料収入で賄うべき汚水処理費の不足分を、市の一般会計から繰入金として年間約5億円を補填しており、下水道事業のみならず市全体の財政運営にも負担を強いている状況にあり、事業採算を考慮せずに進めることは困難な状況下にあります。</p> <p>このことから、有識者と市民の皆さままで組織する西尾市上下水道事業審議会において、下水道事業における持続可能な事業経営の実現を図ることを目的に、整備区域の事業採算性について審議がなされ、一般会計からの繰入金が必要となる区域は、事業採算性のない整備凍結区域とし、その代替措置として、単独処理浄化槽又はくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換設置に対する補助制度で汚水処理対策を行う答申でございました。</p> <p>市といたしましても、審議会の答申を重く受け止め、これまでの下水道事業計画を変更することにいたしました。</p> <p>西野町地区は、公共下水道を整備する区域と凍結する区域が混在する地区となっております。具体的に申し上げますと、整備する町内会は、下町、横作、堀ノ内と明治用水より東側の三丁及び上組の一部でございまして、令和2年度に事業説明会を行い、令和7年度までに整備を完了する予定です。</p> <p>それ以外の町内会は、事業凍結区域となり、汚水処理は合併処理浄化槽により行うこととなります。</p> <p>市では、公共用水域の水質保全が図られるよう、汚水処理対策を進めてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>	下水道管理課 下水道整備課

8/20 鶴城地区（米津・西野町） 令和元年度「市長と語る市政懇談会」意見・質問等一覧〔事前提出分〕

整理 番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出が あった小校区	（内容）	【回答】	担当課
6	西野町保育園移転後の跡地 利用 〔西野町〕	<p>【要望】 西野町地区は、公園や広場がとても少ないので、ぜひ西野町保育園跡地を地域住民が利用できる広場にしていただきたいと思います。 現在、西野町ふれあいセンターのグラウンドでは子供たちだけでなく高齢者がグラウンドゴルフやソフトボールの練習を行っています。また、中高生もグラウンドを利用しています。利用者の活動場所をなくさないようお願いします。</p>	<p>本市では歳入の確保として、売却についても選択肢の一つとして検討することになっておりますが、新たな土地利用計画や地元からの要望がある場合は、必要性を調査・研究し、土地の利活用についても検討してまいります。</p>	保育課